

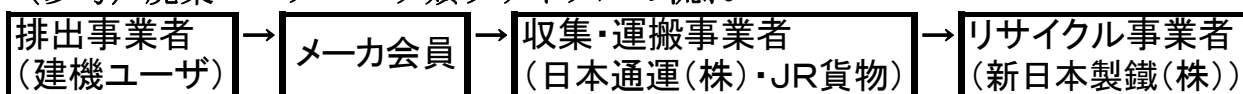
2008年6月25日
(社) 日本建設機械工業会

廃棄ゴムクローラ類に関する全国でのリサイクル事業の開始について

1. (社) 日本建設機械工業会 (会長 木川 理二郎) では、2007年11月、工業会内に「リサイクル管理センター」を設置し、同年12月19日に環境省より廃棄ゴムクローラ類の処理に関する広域認定 (注1) を取得しました。本年3月からは他地域に先行して中部地区で廃棄ゴムクローラ類のリサイクルを進めてまいりましたが、8月1日からその事業を全国へ拡大することといたしました。
2. 当工業会では、1999年7月に「使用済み建設機械のリサイクル推進行動計画」を策定し活動してきましたが、その中でも処理が困難とされていた廃棄ゴムクローラ類については約50%が鉄鋼で構成されマテリアルリサイクルの貴重な資源であるとの認識から、広域認定取得により有償でリサイクルを進めることとしました。
3. 環境省より認定を受けた「廃棄ゴムクローラ類リサイクルシステム」はマテリアルリサイクル比率約70%、サーマルリサイクルや燃料ガスの回収も含めるとほぼ100%のリサイクルシステムとなっています。なお、対象となる製品はメーカー会員 (15社) (注2) が製造した建設機械用のゴムクローラ、パット類です。

本件問合せ先 工業会事務局 二山、小林 (浩)
TEL 03-5405-2288

(参考) 廃棄ゴムクローラ類リサイクルの流れ



(注1) 広域認定とは、メーカー等が複数の都道府県にまたがって使用済みの製品などを回収・リサイクルする際に、処理能力等一定の厳しい基準に適合していると環境大臣が認定すれば、廃棄物処理業の許可を不要とする廃棄物の処理及び清掃に関する法律の特例制度です。

(注2) メーカー会員 15社 (順不同)

石川島建機、加藤製作所、クボタ、コベルコ建機、コマツ、新キャタピラー三菱、住友建機、日立建機、北越工業、ヤンマー建機、アートジャパン、住友ゴム工業、トピー工業、福山ゴム工業、ブリヂストン

以上